

平成28年度進行管理・評価シート
弘前市歴史的風致維持向上計画（平成22年2月4日認定）
（最終変更平成28年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1(歴史的風致維持向上計画推進会議の開催).....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1(ひろさきビューマップ作製事業).....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1(弘前城本丸石垣整備事業).....	3
2(景観重要建造物保存修理助成事業).....	4
3(旧藤田家別邸保存修理事業).....	5
4(市役所本庁舎保存修理事業).....	6
5(鷹揚公園整備事業).....	7
6(市民中央広場整備事業).....	8
7(伝統的建造物群保存地区地方道改修事業).....	9
8(主要地方道弘前岳鱒ヶ沢線整備事業).....	10
9(追手門広場改修事業).....	11
10(趣のある建物指定制度).....	12
11(弘前市民俗芸能保存育成事業).....	13
12(津軽塗技術保存伝承事業).....	14
13(集約促進景観・歴史的風致形成推進事業).....	15
14(歴史的風致の活用と国際観光の振興に関する事業).....	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1(文化財の保存、文化財の修理・整備).....	17
2(保存・活用を行うための施設の設置、文化財の 周辺環境の保全、文化財の防災).....	20
3(保存・活用の普及と啓発).....	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 武家屋敷の街並み着々 弘前・仲町伝建地区 電線地中化や石畳風舗装に 今年度で9割完了	24
2 歴史的事業体験して 弘前城石垣解体	24
3 「大石武学流庭園」保存、活用目指す	24
4 さくらまつり100年盛り上げを	24
5 前川建築観光資源に 弘前など8自治体連携	24
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1(弘前市景観ブースの開催).....	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	26
--------------------------------------	-----------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	計画策定後は、歴史的風致維持向上計画推進協議会及び歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチームを設置し、各事業者(県、市、民間事業者等)と連携しながら適切に計画を進めます。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画の推進について、客観的な評価や意見を受けるため、有識者や市民等で組織した「歴史的風致維持向上計画推進協議会」を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間での連絡を保ちながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>市内推進体制</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>歴史的風致維持向上計画推進会議</p> <p>委員長 副市長 副委員長 都市環境部長・教育部長 委員 経営戦略部長・財務部長・建設部長 観光振興部長</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>歴史的風致維持向上計画推進プロジェクトチーム</p> <p>リーダー 都市政策課長 副リーダー 文化財課長 構成員 財務政策課・財産管理課・建設政策課 道路維持課・観光政策課・公園緑地課</p> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>各事業者 (青森県/弘前市/民間事業者等)</p> <p>・掲載事業の実施</p> </div> <div style="border: 2px dashed orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>歴史的風致維持向上計画推進協議会</p> </div> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>弘前市文化財審議委員</p> </div> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>連携</p> <p>報告・提案</p> <p>意見</p> <p>必要に応じて計画の変更</p> </div> </div>			
<p>●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催日 平成29年2月8日(水) 議題 計画進捗評価について 			
			

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

ひろさきビューマップ作製事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 地域資源の歴史的価値を市民一人一人が認識することは、自らのまちに誇りを持つとともに、市民レベルでの保全活動等にも繋がることから、歴史的風致を醸し出しているまちの資源を再発見できる取り組みを推進します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に市民から応募のあったビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市民や観光客に情報発信し、弘前市の景観をPRするため、「趣のある建物」と共に配布した。(配布部数20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

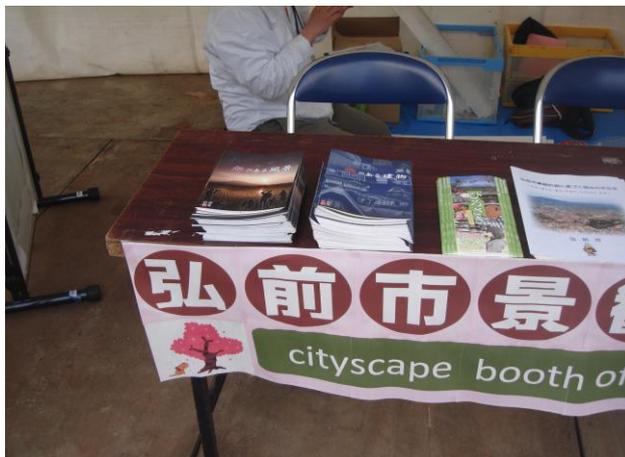
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

趣きのある風景散策ガイドブック



【さくらまつり 景観ブースでの設置状況】



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
項目			
弘前城本丸石垣整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～平成36年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	弘前城本丸の石垣の積み直し及び重要文化財弘前城天守の保存修理の実施により、「弘前さくらまつりに見る歴史的風致」の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は昨年度に引き続き、弘前城跡本丸石垣修理委員会及び弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会を開催し、石垣修理さらに今年度の発掘調査の方針と成果について報告し了承を得た。また、石垣解体工事を9月23日に契約し、12月24日までに解体石垣の番号付けを100%、墨入れを75%完了している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		調査・測量・有識者の指導により計画的に保存修理を実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
[開催日時及び会議内容] ○弘前城跡本丸石垣修理委員会 第15回 平成28年11月24日 平成28年度の発掘調査、石垣解体工事、現場指導アドバイザーについて 第16回 平成29年 3月30日 現場丁張等について ○弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会 第1回 平成28年8月22日 平成28年度発掘状況の報告 [第15回 石垣修理委員会開催状況]			
		[発掘状況] 	
[石垣解体工事状況]			
			

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
景観重要建造物保存修理助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物に指定し、その保存修理に係る経費の一部を助成することにより重点区域内の良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「木村産業研究所」(平成24年10月16日指定)について、建物の老朽化が著しいため、外壁・外壁建具のシーリング及び塗装(下地共)の修繕工事を行い、費用の一部を助成した。
また、当事業の計画的な運用と今後の施策検討のため、景観重要建造物14件のうち民間所有の6件について、所有者に対し改修予定調査を実施した。(平成28年6月調査)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

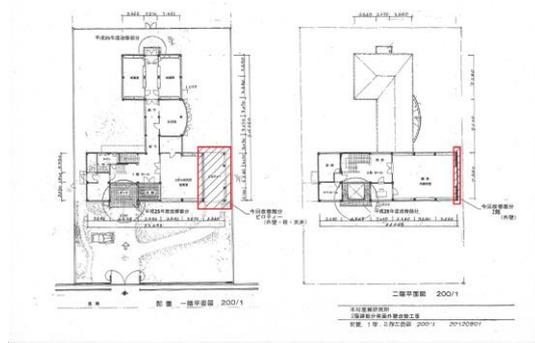
歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修理を進める。

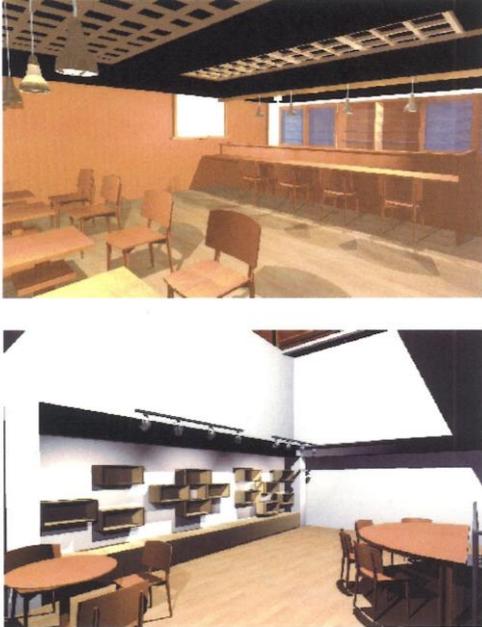
状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【平面図】



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
旧藤田家別邸保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、歴史的風致活用国際観光支援事業		
計画に記載している内容	旧藤田家別邸の洋館、和館及び考古館は、多くの市民や観光客の目に触れる施設であり、内部を公開するなど積極的に活用していますが、築後90年以上と老朽化が著しいため保存修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、藤田記念庭園利活用事業に伴う電気容量不足の解消のため、受電設備の改修を行った。また、老朽した冠木門の改修を行った。 考古館の内装改修を行うことにより、クラフトに触れることのできる休憩スペースを整備し、弘前公園周辺エリアを訪れる観光客の利便性の向上を図る工事に着手。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-		
状況を示す写真や資料等			
【事業位置図】 		【考古館改修イメージパース】 	
【旧藤田家別邸 考古館】 			

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
市役所本庁舎保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～平成29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業、住宅・建築物安全ストック形成事業)		
計画に記載している内容	市役所本庁舎は「弘前さくらまつり」や「弘前ねぶたまつり」の背景として、多くの市民や観光客の目に触れる施設だが、本館は築後50年以上、新館は築後40年以上と老朽化が著しいため保存修理を実施し、これにより「弘前さくらまつり」に見る歴史的風致」や「弘前ねぶたまつりにみる歴史的風致」の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
竣工当時の姿を甦らせるべく、洗浄・保護塗装の試験施工を実施した。さらに、腰壁の珧器質タイルの打診検査及び新設箇所のためのサンプル採取等を行い、タイルの試験焼きを実施したほか、既存内部木製サッシの調査及び、断熱性向上のためアルミサッシに変更した。また既存打ち込みタイルピンニング補強、外部に現れない耐震補強を実施した。既存三角屋根は軽量化を図るためフラットな陸屋根に変更し耐震性の向上に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	モダニズム建築の意匠を後世に引き継ぐことを念頭に、国指定登録有形文化財としての佇まいを維持しつつ性能向上(耐震・断熱)に向けた改修を施すにあたり、一部意匠を変更する箇所(1階及び2階妻側開口部に耐力壁を2枚構築)を慎重に改修する必要がある。		

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



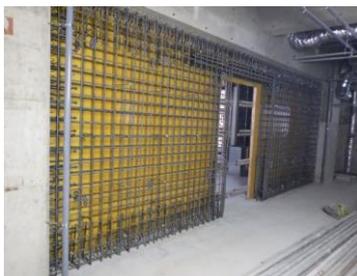
三角屋根部改修前



三角屋根部改修後



耐震壁施工状況



建具2重化及び断熱施工状況



三角屋根部改修 鉄骨造による軽量化



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
鷹揚公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園だが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

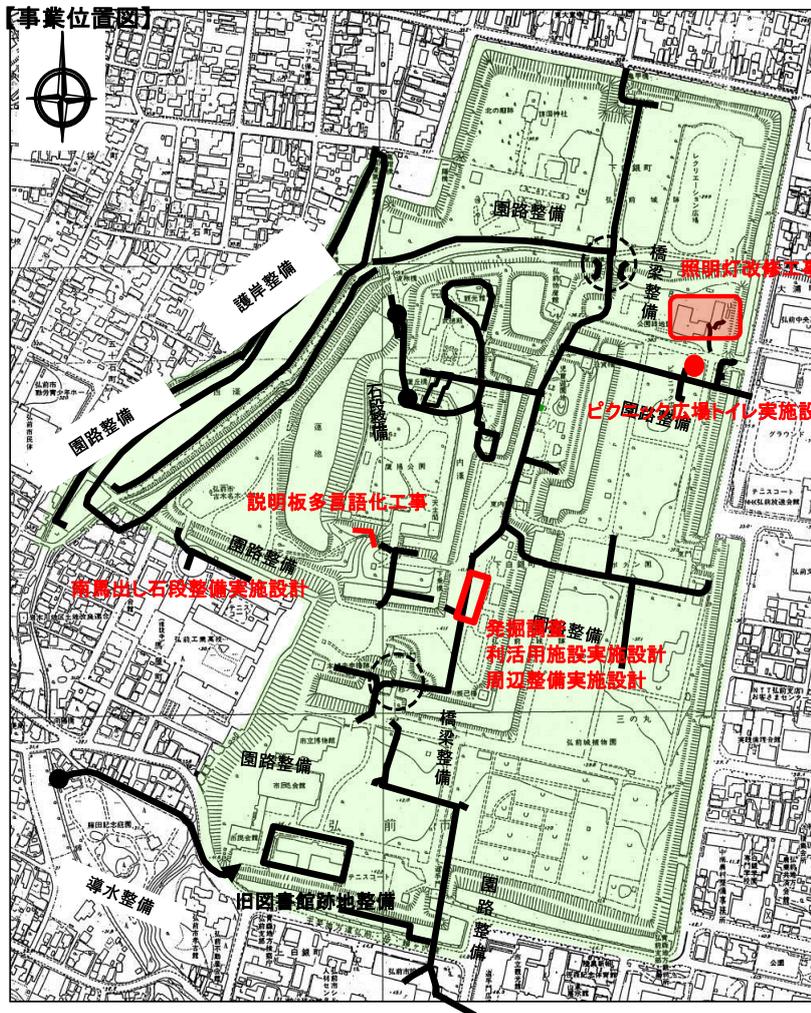
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、昨年度に引き続き二の丸活用施設及び二の丸周辺整備に係る本発掘調査、重要文化財等説明板の多言語化工事、照明灯の改修工事、及び二の丸活用施設整備・二の丸周辺整備・南馬出し石段整備・ピクニック広場トイレの実施設計を行った。
 発掘面積・A=1,595㎡、説明板多言語化工事:N=16基、照明灯改修工事:N=1式、二の丸活用施設・二の丸周辺整備・南馬出し石段整備実施設計業務:N=1式

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【本発掘調査】



【照明灯改修工事】

【施工前】



【施工後】



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
市民中央広場整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(中心市街地活性化広場公園整備事業)

計画に記載している内容 市民中央広場では、鷹揚公園(弘前公園)に近接し、「弘前ねふたまつり」の時期には、ねふた小屋が設置される多目的広場で、この広場整備により弘前公園周辺の良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

拡張用地を取得するため、支障となる建物、工作物等現地調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

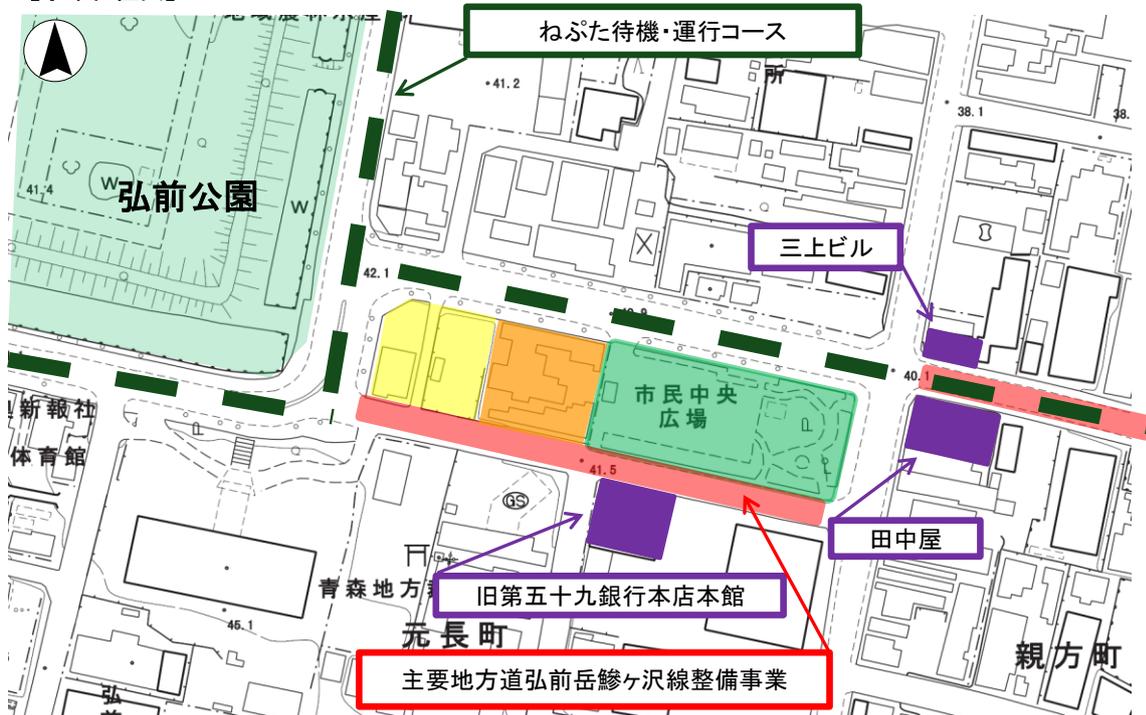
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

建物所有者、借家人と移転時期を調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



整備年度	
H24年度迄	
H29年度以降	

H28年度調査箇所	
-----------	---

※平成25、26、27年度は関係機関との調整のため、整備中断

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
伝統的建造物群保存地区地方道改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～平成30年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 鷹揚公園(弘前公園)の北側に位置し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている仲町地区の無電柱化及び消流雪溝の整備により、弘前公園と一体となった景観形成を図る。

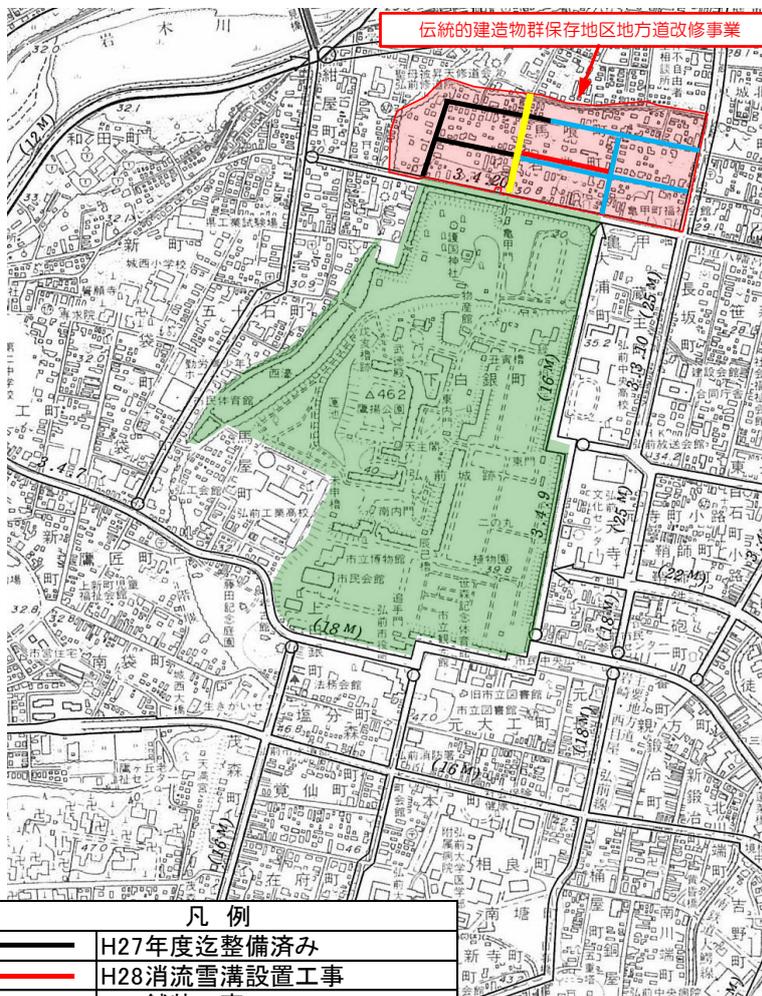
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

仲町地区において鷹揚公園(弘前公園)と一体となった景観形成を図るため、電線共同溝の附帯工事である舗装工事と電線共同溝の工事に伴い支障となる地下埋設物の移設を実施、また消流雪溝の設置工事を実施した。

電線共同溝建設工事L=0m(H28年度は附帯工事のみ実施のため)、消流雪溝設置工事L=139.4m

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-

状況を示す写真や資料等



電線共同溝附帯舗装工事状況



消流雪溝整備



凡例	
—	H27年度迄整備済み
—	H28消流雪溝設置工事
—	H28舗装工事
—	H28支障物件移設
—	H29以降電線共同溝など

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
主要地方道弘前岳釜ヶ沢線整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～
支援事業名	防災安全交付金
計画に記載している内容	本路線は、ねふた運行のメインルートになっているほか沿道には歴史的建造物が建ち並んでおり、景観を阻害している電線類を地中化することにより、回遊性及び景観の向上を図る。

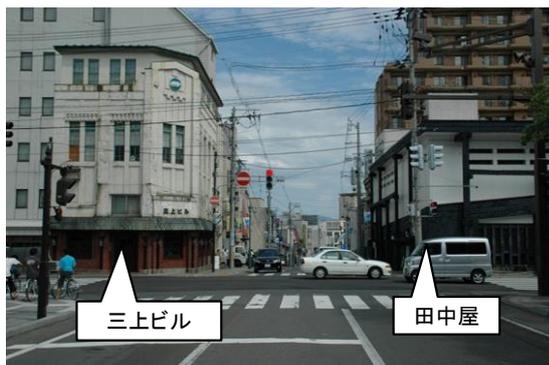
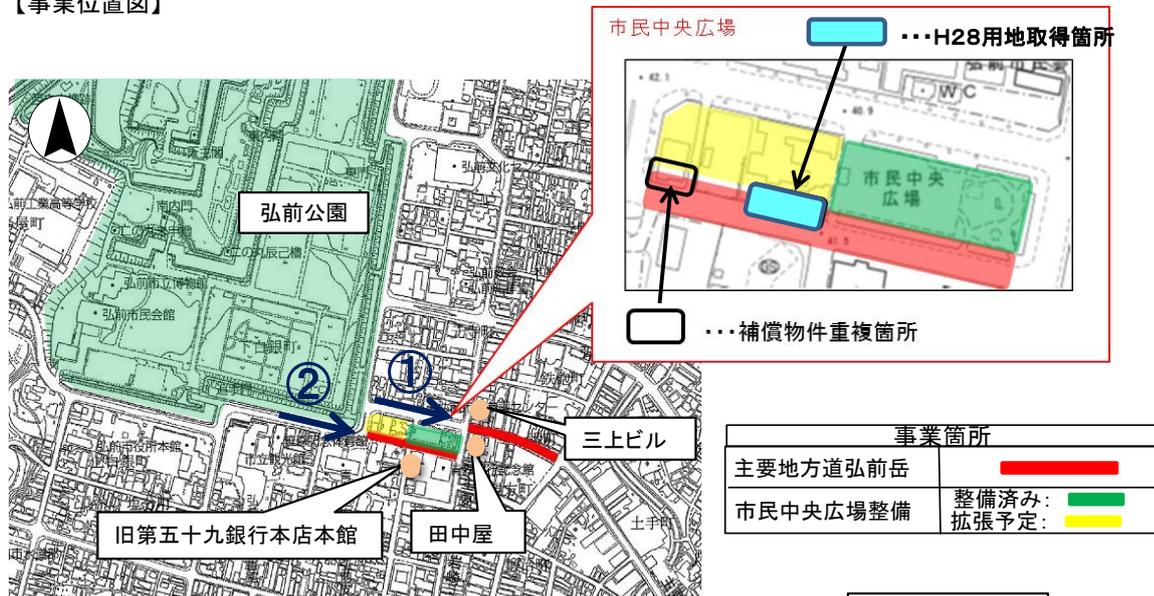
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県所管である当事業の整備区域が、市所管の「市民中央広場整備事業」と重複するため、双方で工程調整を進めた。1件の用地取得が進んだ。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民中央広場整備事業の拡張部分と重複している補償物件について、県と市が調整を進めるにあたり事業期間を延長する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 弘前公園に隣接し、当市の観光・文化の拠点となっている追手門広場の老朽施設等の改修により、弘前公園周辺の良好な景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

広場内に立地する市立観光館のリニューアル工事の計画と合わせ整備内容の検討を庁内で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

市立観光館のリニューアル計画との調整を図るため、大規模な広場改修事業の着手に遅れが生じているが、施設を適正に管理するため、必要最低限の修繕を施すなど良好な景観を維持する必要がある。

状況を示す写真や資料等

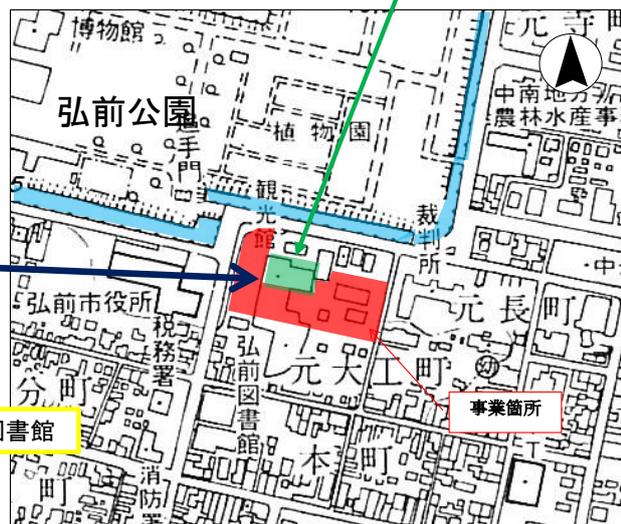
【追手門広場】



市立観光館



【事業位置】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
趣きのある建物指定制度		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 当市の風情を醸し出している古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信することで、弘前の新たな魅力の発見など歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物を中心に観光施設等で散策ガイドマップを配布した。(配布部数約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-

状況を示す写真や資料等

趣きのある建物散策ガイドマップ



【百石町展示館 設置状況】

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
弘前市民俗芸能保存育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 獅子舞や登山ばやしなどの保存団体の育成活動に必要な経費の一部を補助することにより、民俗芸能の保存継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽地方特有の獅子舞の保存伝承に取り組む1団体に対し、後継者育成活動経費(講師謝金、会場借上げ料等)や、芸能発表会経費(会場借上料、交通費、運搬費等)の一部を補助。
平成28年度は今後の委員会の組織体制、方向性等について協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動が必要である。弘前市民俗芸能保存育成実行委員会については、委員会の今後の方針を早急に決める必要がある。

状況を示す写真や資料等

弘前市民俗芸能保存育成実行委員会構成団体

構成団体	設立	概要
1 弘前市民俗芸能保存連合会	1982	弘前市特有の郷土芸能の保存に取り組む団体の連合組織。構成される芸能の種類は、津軽三味線、民謡、手踊り、登山ばやし、獅子舞と多岐にわたる。
2 五代獅子舞保存会	1947	弘前市五代地区に伝わる獅子舞を伝承している団体。構成員は五代地区の人々で、大人組と少年組がある。
3 鳥井野獅子踊保存会	1986	弘前市鳥井野地区に伝わる獅子踊を伝承している団体。構成員は鳥井野地区の人々で、大人組と少年組がある。
4 岩木登山ばやし保存会	1984	お山参詣の登山ばやしの保存と普及のために活動している団体。自主開催の、新春岩木登山ばやし大会を開催。
5 黒滝獅子舞保存会	不明	弘前市黒滝地区に伝わる獅子舞を伝承している団体。構成員は黒滝地区の人々である。
6 紙漉沢獅子舞保存会	不明	弘前市紙漉沢地区に伝わる獅子舞を伝承している団体。構成員は紙漉沢地区の人々である。
7 相馬村登山ばやし愛好会	不明	お山参詣の登山ばやしの保存と普及のために活動している団体。お山参詣に参加するなかでもっとも活動的な団体のひとつ。

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗技術の研鑽のための古技法再現に必要な漆などの材料費及び後継者育成に必要な用具確保や、講師謝金などの経費の一部を補助することにより、伝統工芸の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市では、津軽塗技術保存会が実施する、技術の研鑽及び後継者育成を行うための経費の一部を補助した。なお、平成28年8月3日に「津軽塗」が青森県技芸に指定を受け、保存会が保持団体の認定を受けた。
 <津軽塗技術保存会 平成28年度活動状況>
 (1)後継者育成: 塗研修生3名、木地研修生3名
 (2)再現作品制作: 津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。
 27年度から2カ年かけてお盆とお膳を制作した。
 (3)成果発表会: 平成29年3月24日～26日 ギャラリー・デネガ(弘前市)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存会の津軽塗技術伝承については、体制の構築が急務であるが、今後も引き続き、市としてもより一層のサポートを行っていく。
--	---

状況を示す写真や資料等

津軽塗技術保存会 後継者育成研修(塗研修)の状況



再現作品制作の様子



成果発表会の様子



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
集約促進景観・歴史的風致形成推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～

支援事業名 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金

計画に記載している内容 津軽歴史文化資料展示施設の整備により、後世への歴史的風致の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

施設建築工事は、今年度本格着工し躯体コンクリート打設を完了した。展示施設等工事は、レプリカ作成に向けて調査を実施し、展示ケース・照明等の詳細仕様の調整を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成27年度末に予定地にて地中障害物が確認され工事着手が遅れたものの、今年度の本格着工後は順調に進捗しており、平成29年度中の完成を見込んでいる。

状況を示す写真や資料等

資料館外観パース



資料館展示室パース



施設建築工事の様子



具足調査の様子



評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的風致の活用と国際観光の振興に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	歴史的風致活用国際観光支援事業費補助金		
計画に記載している内容	広域観光周遊ルート形成に向けた取組の一環として、国外からの来訪者の受入環境整備を行います。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①説明板、パンフレット等の多言語化 【歴史的建造物説明板多言語化事業】 弘前公園内 説明板7基整備 【弘前公共交通多言語ガイド事業】 公共交通結節点(JR弘前駅)に5言語の市内案内板を設置 ②旅行者のニーズに応じた利便性・回遊性の向上を図るための休憩所等の利便施設整備 【外国人周遊ルート休憩所整備事業】 歴史的風致形成建造物である旧藤田家別邸倉庫(考古館)を外国人観光客が回遊する際に歴史的風致の工芸品等に気軽に触れることができるスペースを兼ね備えた休憩所として整備 H28年度は改修の設計、工事着工 【インバウンド対応型トイレ整備事業】 禅林街及び岩木山神社にある公衆トイレを洋式化			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		旧藤田家別邸倉庫(考古館)整備において、整備内容の検討に時間を要し、年度内の工事完了とはならなかった。29年度早めの工事完了を目指す。	
状況を示す写真や資料等			
【歴史的建造物説明板多言語化事業】  		【インバウンド対応型トイレ整備事業】  	
【弘前公共交通多言語ガイド事業】 		【外国人周遊ルート休憩所整備事業】 考古館改修後イメージ 	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の保存、文化財の修理・整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 弘前にのこる歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の保存

- ①弘前市指定文化財:2件【珠洲焼経容器及び蓋石、堂ヶ平経塚】
- ②埋蔵文化財:詳細分布調査を2地区で実施。
- ③民俗芸能団体への後継者育成事業への補助(1団体)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。
- ④大石武学流庭園調査事業
事業期間:H28~30年度
H28年度は個々の庭園の詳細測量等の調査を実施した。

○文化財の修理・整備

- ①弘前城跡整備
 - 1)津軽氏城跡保存修理事業
・弘前城本丸石垣整備事業(H19~42年度)
H28年度は、本丸平場(320㎡)及び内濠(24㎡)の発掘調査、石垣の清掃及び解体石垣の番号付けを実施した。また、修理現場の公開のため、展望台を設置した。
 - 2)鷹揚公園[史跡津軽氏城跡]整備事業(H20~29年度)
H28年度は、二の丸利活用施設及び二の丸周辺整備に係る本発掘調査や重要文化財等説明板の多言語化工事等を実施した。
- ②旧弘前偕行社保存修理事業
事業期間:H24~31年度
H28年度は軸部の取替・復旧や附門柱及び煉瓦塀の復原に着手した。
- ③岩木山神社本殿保存修理事業
事業期間:H27~28年度
漆塗塗装及び彩色塗装の塗直しを実施し、事業が完了した。
- ④革秀寺保存修理事業
事業期間:H27~29年度
H28年度は本堂の屋根葺き替え及び箱棟の修理、津軽為信霊屋の屋根葺き替え等を実施した。
- ⑤高照神社随神門・高塀保存修理事業
事業期間:H28年度
暴風により損壊した随神門及び高塀を修理した。
- ⑥乳井神社社殿保存修理事業
事業期間:H28~29年度
屋根の老朽化や軸部の歪みが進んでいることから保存修理に着手した。
- ⑦旧弘前偕行社文化財建造物等活用地域活性化事業
事業期間:H28~31年度
管理棟等の便益施設等の整備に向け、実施設計を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。

状況を示す写真や資料等

文化財の修理・整備

①弘前城本丸石垣解体工事



〈内容〉

石垣修理のため、石垣清掃やメッシュ入れ、番号付けを実施して石垣の解体に着手した。11月13日に弘前城本丸石垣解体イベントを開催し、一般の人々の石曳き体験、解体石垣番号付け記念体験を実施した。

②旧弘前借行社保存修理事業

木工事の様子



弘前借行社として建築された明治40年の姿に復原するため、後補開口部の軸部や後補間仕切の付柱設置による筋違欠損部・間柱などを復旧した。

附工事の様子



地覆石に不陸のない部分以外を基礎から解体し、積み直した。また、凍害による剥離や欠けなどの欠損部分、不要な穴などを補修した。

③岩木山神社本殿保存修理事業

【施工前】



漆塗は浜縁廻りや縁廻りの劣化が著しく進行し、各所に亀裂が生じていた。彩色塗は向拝部分の変色・剥落が著しく進行していた。



【施工後】



漆塗は、身舎部分は台輪から下方部分、向拝部分は虹梁までを補修した。彩色塗は、向拝部分のみ行い、すべて掻き落として新たに塗替えを行った。

竣工：平成28年11月30日

④革秀寺保存修理事業

本堂

【施工前】



箱棟が変形し、茅葺面には全体的に若干のヤセや乱れ、抜け落ち等が見られた。



【施工後】



茅葺屋根の全面に差茅を実施した。また、箱棟は解体して修理し、銅板葺や鬼板の銅板包みをやりなおした。

津軽為信霊屋

【施工前】



こけら板の損耗や板の乱れが見られ、コケが繁茂していた。軒付は唐破風尻部分にシミが生じており、雨水が侵入していた。

【施工後】



屋根の全面葺替を行った。

⑤高照神社随神門・高塀保存修理事業

【施工前】



平成28年4月17日の暴風により、高塀2棟のうち、北側の折れ曲がりの先約20メートルの範囲で倒壊した。

【施工後】



柱の根継ぎや屋根トタンの葺替え等により復旧した。

竣工：平成28年12月23日

⑥乳井神社社殿保存修理事業

礎石工事の様子



基礎の不陸が進んでいたことから、ジャッキアップして破損していた礎石を据え直した。

建入れ工事の様子



柱の傾斜が進んでいたことから、建入れ調整を実施した。

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域にある高照神社宝物殿に収蔵されている重要文化財工芸品を中心とした保存・活用施設を建設し、弘前城跡ではガイダンス機能を持った二の丸利活用施設を設置する。また、仲町伝統的建造物群保存地区内で、電線類の地中化を進める。さらに、重要文化財(建造物)の防災設備の更新を順次進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○保存活用を行うための施設の設置 ①津軽歴史文化資料展示施設の整備について、平成28年度は施設建築工事に着工。また、展示施設等工事ではレプリカ作成に向けた調査を実施。			
○文化財の周辺環境の保全 ①伝統的建造物群保存地区地方道改修事業について、平成28年度は電線共同溝の附帯工事である舗装工事や消流雪溝の設置工事などを実施。			
○文化財の防災 ①文化財防火デーに合わせて重要文化財弘前学院外人宣教師館において防災訓練を実施。 ②旧岩田家住宅防災設備設置事業 事業期間：H28～29年度 H28年度は実施設計を作成。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	-		
状況を示す写真や資料等			
文化財の防災 ①文化財防火デーに合わせて1月28日に、重要文化財弘前学院外人宣教師館において防災訓練を実施。			
			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
保存・活用の普及と啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民俗芸能等の記録保存を行うと共に、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>○保存・活用の普及と啓発</p> <p>①「体験発掘」開催。 市内の小学生を対象に、発掘体験を学校教育の支援として実施。 6月24日実施。参加人数:13人</p> <p>②「史跡堀越城跡整備現場体験学習及び現場見学会」開催。 地元の小学生を対象に、整備の進む旧石戸谷家住宅の土壁の材料作り体験及び堀越城跡の整備現場の公開を実施。 7月14日、10月25日に実施。参加人数:延べ160人</p> <p>③「ちびっこ縄文講座」開催。 市内の小学生を対象に、土器づくり体験や史跡大森勝山遺跡でのクイズラリーを実施。 7月23日、8月21日に実施。参加人数:延べ14人</p> <p>④「大森勝山じょうもん祭り」開催。 埋蔵文化財担当職員による解説付の史跡探検、史跡全貌を眺望できる仮設展望台の設置、野菜焼体験などを実施。 8月7日に実施。参加人数:175人</p> <p>⑤「大石武学流庭園バスツアー」開催。 国指定名勝庭園の瑞楽園(弘前市)、金平成園(黒石市)、盛美園(平川市)の3カ所を巡るバスツアーを実施。 8月11日に実施。参加人数:98名</p> <p>⑥「大石武学流庭園サミット」開催。 津軽地方独自に発展した「大石武学流庭園」の価値を見つめ直し、地域活性化のための活用法を探るサミットを開催。 8月11日に実施。参加人数:210人</p> <p>⑦「ひろさき歴史体感ツアー」開催。 弘前城跡の石垣の石材産地(石切丁場)と本丸石垣及び堀越城跡と石川城跡をめぐるツアーを実施。 8月27日、28日の2日間実施で、参加人数:延べ72人</p> <p>⑧「旧石戸谷家住宅復元工事上棟式」開催。 復元工事の進む旧石戸谷家住宅の上棟式を実施。 10月30日に実施。参加人数:90人</p> <p>⑨重要文化財旧弘前借行社保存修理現場特別公開 保存修理実施中の旧弘前借行社の修理現場を特別公開。見学人数を定めて3回実施。 11月3日に実施。参加人数:124人</p> <p>⑩重要文化財革秀寺保存修理現場特別公開 保存修理実施中の本堂及び津軽為信霊屋の修理現場の特別公開、屋根葺き体験を実施。 11月3日に実施。参加人数:96人</p> <p>⑪「大森勝山遺跡シンポジウム」開催。 過去の発掘調査内容及び写真を示しながらの遺跡概要の報告、自然地理学や世界遺産の専門家による講演等を実施。 11月5日に実施。参加人数:94人</p> <p>⑫「まちなかクラフト村」開催。 市内の工芸品の展示・販売を実施。 さくらまつり期間(4月20日～5月5日)、ねぶたまつり期間(7月31日～8月6日)、 菊と紅葉まつり期間(10月21日～11月13日の金、土、日、祝日の13日間)、雪燈籠まつり期間(2月9日～2月12日)、 3月16日～3月20日に実施。来場者:5,604人</p> <p>⑬その他学習支援及び一般説明等 小中学校の学習支援としての文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。実施回数23回 参加人数:1,816人</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。		

①「体験発掘」

平成28年6月24日 参加人数:13人



②「史跡堀越城跡整備現場体験学習及び現場見学会」

平成28年7月14日・10月25日 参加人数:延べ160人



③「ちびっこ縄文講座」

平成28年7月23日・8月21日 参加人数:延べ14人



④「大森勝山じょうもん祭り」

平成28年8月7日 参加人数:175人



⑤「大石武学流庭園バスツアー」

平成28年8月11日 参加人数:98人



⑥「大石武学流庭園サミット」

平成28年8月11日 参加人数:210人



⑦「ひろさき歴史体感ツアー」

平成28年8月27日・8月28日 参加人数:延べ72人



⑧「旧石戸谷家住宅復元工事上棟式」

平成28年10月30日 参加人数:90人



⑨「重要文化財旧弘前借行社保存修理現場特別公開」
平成28年11月3日 参加人数:124人



⑩「重要文化財革秀寺保存修理現場特別公開」
平成28年11月3日 参加人数:96人



⑪「大森勝山遺跡シンポジウム」
平成28年11月5日 参加人数:94人



⑫「まちなかクラフト村」
平成28年4月20日～5月5日ほか



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「大石武学流庭園」保存、活用目指す	H28.8.12	東奥日報
歴史的事業体験して 弘前城石垣解体	H28.9.28	陸奥新報
武家屋敷の街並み着々 弘前・仲町伝建地区 電線地中化や石畳風舗装に 今年度で9割完了	H28.10.31	陸奥新報
前川建築観光資源に 弘前など8自治体連携	H29.2.2	東奥日報
さくらまつり100年盛り上げを	H29.2.16	東奥日報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

仲町伝統的建造物群保存地区の電線地中化の事業進捗状況や、洋風建築である旧制弘前高等学校外国人教師館への地元コーヒー店の出店による活用など、歴史的風致の活用が新聞で取り上げられた。また、弘前城本丸石垣整備事業に関しては新聞記事の掲載が59件【H29.3.末】あり、歴史的建造物の活用や弘前城石垣整備事業を中心に、歴史的風致の維持向上の取り組みが市民等に周知された効果は高い。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後とも、計画の着実な推進により、実施事業等を報道機関に取り上げられる機会を増やす。

状況を示す写真や資料等

- (1) 東奥日報 平成28年8月12日掲載 (2) 陸奥新報 平成28年9月28日掲載 (3) 陸奥新報 平成28年10月31日掲載



- (4) 東奥日報 平成29年2月2日掲載



- (5) 東奥日報
平成29年2月16日掲載

(1)(4)(5) 東奥日報社提供
この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。
(2)(3)陸奥新報社提供
この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページのリンクは固くお断りします。

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	平成28年度
項目			
景観ブースの開催			
計画に記載している内容	地域資源の歴史的価値を市民一人一人が認識することは、自らのまちに誇りを持つとともに、市民レベルでの保全活動等にも繋がることから、歴史的風致を醸し出しているまちの資源を再発見できる取り組みを推進します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
平成元年からほぼ毎年実施している弘前市景観フォーラムに代わり、今年度はさくらまつりとカルチャロードで良好な景観、趣のある建物についての周知及び情報発信を行う景観ブースを開催し、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や地域資源の気づきの向上が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	より良い未来の景観づくりについて楽しみながら考える機会となった。将来につながる継続的な景観保全のために、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>第1回景観ブース 「みんなでつくる弘前の景観紹介ボード」 平成28年4月23日・24日 参加者200名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>第2回景観ブース 「レトロな建物×レトロな遊び ～割りばし鉄砲で弘前の景観に親しもう！」 平成28年9月18日 参加者241名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価対象年度 平成28年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 平成28年度弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 平成29年2月8日

(コメントの概要)

■ 議事の内容

- ・計画の進捗評価について

■ 計画の進捗評価についてのコメント

○文化財の保存又は活用に関する事項

近代建築ツーリズムネットワークの立ち上げ、石垣整備の展望台設置の項目を追記していただきたい。

○効果・影響等に関する報道

観桜会100年事業について追記していただきたい。

○伝統的建造物群保存地区地方道改修事業

工事開始から10年経過しており、住民は大変だが、あと2年で整備が完了する。景観がよくなり、海外からの観光客も増え、住民は大変喜んでいる。

○集約促進景観・歴史的風致形成推進事業

津軽歴史文化資料展示施設で展示予定のレプリカは具足1領のみではなく、もっと作成してほしい。

○歴史的風致の活用と国際観光の振興に関する事業

外国人周遊ルート休憩所整備事業で整備している旧藤田家別邸倉庫に展示している考古資料の活用予定について伺いたい。



協議会の様子

(今後の対応方針)

○文化財の保存又は活用に関する事項

石垣整備の項目を追加、近代建築ツーリズムについては効果・影響等に関する項目に追加。

○効果・影響等に関する報道

該当記事を追記。

○集約促進景観・歴史的風致形成推進事業

資料のレプリカ制作について、予算も勘案し計画的に検討していく。

○歴史的風致の活用と国際観光の振興に関する事業

旧藤田家別邸倉庫に展示している考古資料については博物館の常設展示ですすでに展示しており、今後、計画的に展示を実施する予定。